

関西大学経済・政治研究所 第226回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

今回の産業セミナーは「地方財政と地方債」という統一テーマのもとに企画した。バブル崩壊後、1990年代の日本の地方財政は拡大を続ける。その中で、国と地方を通じた財政再建が課題になり、また、地方財政の厳しさは増す。第2報告では、バブル期以降、三位一体改革、地方創生へと繋がる地方財政の動向と課題について概観する。一方、米国の州や地方団体等は活発に地方債を発行し市場から幅広く資金を調達している。中でも元利償還の原資を特定の収入源に限定して発行される「レベニュー債」が活発に利用され、多様な資金調達を可能としている。第1報告ではこのレベニュー債に焦点を当て、日本での活用の可能性を考える。報告は日本が参照しうる米国の活用例から入った後、日本の地方財政の厳しさを考える。

＜財政の健全化と公会計改革研究班 主幹 柴 健次＞

日時：2017年10月19日(木)13:00～16:10

会場：千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

【テーマと報告者】

「米国地方債市場とレベニュー債」

財政の健全化と公会計改革研究班 研究員
関西大学 商学部准教授

田村 香月子

「バブル期以降の地方財政運営と財政健全化」

財政の健全化と公会計改革研究班 研究員
関西大学 経済学部教授

林 宏昭

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員 70 名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主催 関西大学経済・政治研究所
後援 大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学

